



こんにちは。毎日とっても暑いですね。
子ども達は、短い夏休みをどう過ごしているのでしょうか。

もうすぐ8月15日。75年前のこの日は、そうれっしゃのお話に出てくる「戦争」がやっと終わった日ですね。せっかく集まって練習していたのですから、心の中でしっかりと「平和」を祈り、それぞれのおうちで「そう」を口ずさみながら、みんなの思いを束ねていきましょうか。

さて、先にお伝えしましたが、この未曾有のコロナ禍中にあっても、私たちは明るく元気に手をつないで、前を向いて新しい歩みを始めることにしました。

まずは今回の「こゝあ」（30周年を迎え、新たにスタートするので「No.30-1号」としました）をお届けすることから、ゆっくりスタートしていきます！先行きの見えない中、手探りで進んでいくこととなりますが、「こゝにあればあえるね」と皆さんをつないできた「こゝあ」が、「こゝでまたあおうね」と、さらに気持ちを弾ませる役割を果たしていけるといいなあと思っています。

皆さんにもぜひ一緒に育てていただきたいので、いろんな参加があると嬉しいです！

お手紙、メール、音声、動画、なんでもござれ！基本的には内部の方だけに公開する予定ですが、実名はちょっと…という方は、ニックネームやイニシャルでもOKですよ。

まずは、酒井さんのメッセージから、はじまり、はじまり～！



酒井さんからのメッセージ(抜粋)

川口そうれっしゃに、こうして皆さんと一緒に参らせていただいている一員である…ということに幸せを感じております。

そうの本番だったはずの日に公演ができなかったことに、悔しく複雑な思いをいたしました。むしろ、これから新しい形で一からもう一度やり直せることを、今はポジティブに喜ばたいと思います。

音楽を愛好する文化を、音楽に参りする文化を、人として感性豊かに感じ、表現し伝える文化を、我々がどう繋げていくか…そして、それを継ぐ子ども達どう手渡していくかを、今、私たちは問われていると感じています。

「命の大切さ」そして「慈しむ心」を、このそうれっしゃの音楽を通じて伝えるために、これから努力していきたいと強く思います。

